

国語 第4学年 役わりをいしきしながら話し合おう 自分の学級に合わせて直すプロンプト

下の枠の文を全部そのままAI（ChatGPT・Claude・Gemini など）に貼り、質問に答えると、この単元の学習指導案が自分の学級に合わせて直ります。枠の後半には、直す対象の学習指導案が入っています。

あなたは小学校の国語の授業づくりを手伝う役です。この後に続く「クラスみんなで決めるには（第4学年・話すこと・聞くこと）」の学習指導案を、私の学級に合わせて直してください。

先に、次の五つを一つずつ質問し、私の答えを待ってから次の質問に進んでください。まとめて聞かないでください。

一、学級の人数と、学級全体で一度に話し合うか、学級を分けて話し合うか。

二、既習のこと。第3学年で班の話し合いや司会をどこまで経験したか、学級会をどのくらい子どもが進めているか。

三、この学級の子どもの実態。発言が偏る、記録を書くのが苦手、すぐに多数決にする、などの実態。

四、この単元に使える時間数と、研究授業にする時間（何時間目か）。

五、使える道具。一人一台の端末があるか、共有の画面に書き込めるか、大型画面があるか、紙だけか。

五つの答えがそろったら、学習指導案を次の決まりで直してください。

学習指導要領の文言、評価規準の文末（「～している」「～しようとしている」）は変えない。

教科書の話し合いの例の文は引用しない。必要な所は「先生が教科書から書き入れる」と書く。

議題は学級で実際に決めたい物とし、学習指導案に書いた形のまま残す。

時間数は私が答えた数に合わせ、削ったり足したりした時間がどれかを一覧にする。

本時の展開は、人数と道具に合わせて、話し合いの形、役割の人数、使う物を書き直す。

つまりきへの手当ては、私が答えた実態に合わせて具体的に書き直す。

直した所の一覧を最後に付け、どの答えを根拠に直したかを一行ずつ書く。

文章は先生がそのまま使える言い方にし、比喻や決まり文句を使わない。

出力は、学習指導案と同じ見出しの順で全文を出してください。

直す対象の学習指導案は、この後に続けて書きます。

———ここから直す対象の学習指導案———

第4学年 国語科学習指導案

1 単元名 「役わりをいしきしながら話し合おう」 教材名 「クラスみんなで決めるには」

2 単元目標

比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解し使う（(2)イ）。目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる（A(1)オ）。言葉がもつよさに気付くとともに、思いや考えを伝え合おうとする（学年の目標(3)）。

3 単元の評価規準

〔知識・技能〕①比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。（(2)イ）

〔思考・判断・表現〕①「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合っている。（A(1)オ）

〔思考・判断・表現〕②「話すこと・聞くこと」において、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。（A(1)オ）

〔主体的に学習に取り組む態度〕①粘り強く、互いの意見の共通点や相違点に着目し、学習の見通しをもって、自分の役割を意識しながら学級全体で話し合おうとしている。

4 指導上の考察

(1) 単元について

本単元は、学級全体で一つの議題について話し合い、司会・記録・提案する人・参加する人の役割を受け持って、みんなで決める単元である。学習指導要領第3学年及び第4学年のA(1)オを中心に置き、言語活動はA(2)ウ「互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動」に当たる。第3学年で班の話し合いを司会の進行に沿って進めた学習を受け、本単元では話し合う人数が学級全体に広がる。人数が多いと意見が多く出て、同じ意見と違う意見が混ざるので、記録係が黒板に意見を分類して書き留め、参加する人がそれを見ながら共通点と相違点を言うことになる。(2)イの「比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方」を、記録の役と、参加する人の話し合いメモの両方で使う場面である。ここで身に付けた進め方は、学級会など教科の外の話し合いにも生かせる。第5学年では、互いの立場や意図を明確にししながら計画的に話し合う学習〔第5学年及び第6学年〕A(1)オへ進む。

(2) 児童について（学級の実態を書く）

(3) 指導について

指導に当たっては、次の三つを大切にする。まず、役割ごとに「言うこと」と「すること」を書いた役割カードを子どもと作り、話し合いの間ずっと手元に置かせる。司会は議題・目的と進め方を確かめて順に指名し、最後に決まったことを確かめる。記録は出た意見を短い言葉で書き、似た意見を線で囲む。提案する人は提案と理由を言う。参加する人は、黒板の記録と比べて、同じ所と違う所を挙げてから意見を言う。また、記録の書き方を本番の前に練習し、短い言葉で書き留めることと分類することを身に付けさせる((2)イ)。そして、決め方を最初に確かめ、目的に合うかどうかで比べ、多数決は最後の方法にする。役割に沿った発言があり、共通点や相違点を挙げて考えをまとめる発言やメモがある姿を「おおむね満足できる」状況、違う意見のよい所を合わせた案を出したり、目的に照らした決め方を提案したりする姿を「十分満足できる」状況の目安にする。

5 指導と評価の計画（全8時間）

第1次 第1時：○学級全体で話し合って決めたいこと（議題）を出し合い、単元で話し合う議題と目的を決める。○学習の見通しをもつ。 評価：態①（観察）

第1次 第2時：○教科書の話し合いの例を聞き、司会・記録・提案する人・参加する人が、それぞれ何を言い、何をしているかを見付けて「役割カード」にまとめる。

第2次 第3時：○話し合いの進め方（議題と目的の確認→提案→質問→意見を出し合う→比べてまとめる→決まったことの確認）を確かめ、役割を決める。○提案する人は提案と理由を、参加する人は自分の考えと理由を話し合いメモに書く。

第2次 第4時：○記録の仕方を練習する。先生が読み上げる短い話し合いを聞き、出された意見を短い言葉で書き留め、似た意見をまとめて分類する。 評価：知①（記録・話し合いメモ）

第2次 第5時：○グループに分かれ、役割を交代しながら短い話題で話し合いの練習をする。 評価：思①（観察）

第2次 第6時：○学級全体で話し合う（一回目）。提案を聞き、質問し、意見を出し合う。 評価：思①（観察・記録）

第2次 第7時（本時）：○学級全体で話し合う（二回目）。黒板の記録を見ながら共通点と相違点を確かめ、目的に照らして考えをまとめて決める。 評価：思②（観察・話し合いメモ）

第3次 第8時：○話し合いを振り返り、役割ごとによかった発言を出し合って、学級全体で話し合う時の進め方をまとめる。○学級会などでも使えることを確かめる。 評価：知①（振り返り） 態①（振り返り）

6 本時の指導（7/8）

(1) 本時の目標

学級全体の話し合いで、自分の役割を意識し、黒板の記録を見ながら互いの意見の共通点や相違点に着目して、目的に合う考えにまとめられる。(A(1)オ)

(2) 学習過程

【導入】

学習活動：1 前時の話し合いで出た意見と、残った課題を、記録を見て確かめる。

○「前の時間話し合いで、決まったことと、まだ決まっていないことは何ですか」

【めあて】同じところとちがうところに目をつけて、クラスの考えをまとめよう。

2 議題と目的、本時の進め方、役割を確かめる。

予想される児童の反応：・意見はたくさん出たけれど、決まらなかった。

- ・同じような意見がいくつもあった。
- ・どの意見にも理由があって、選べなかった。

指導上の留意点：・前時の記録（黒板の写真か記録係のノート）を掲示し、意見の種類が見て分かるようにしておく。

- ・議題と目的を黒板の一番上を書く。
- ・司会と記録の子には役割カードを前もって渡し、言うことを確かめさせておく。

【展開】

学習活動：3 学級全体で話し合う。

- (1) 司会が、議題と目的、前時に出た意見を確認する。
 - (2) 記録係が、前時の意見を似た物どうしでまとめた黒板の記録を説明する。
- 「似ている意見は、どこが同じですか。ちがう意見とは、どこがちがいますか」
- (3) 参加する人が、共通点と相違点を挙げて意見を言う。
 - 「議題の目的に一番合っているのは、どの考えですか。その理由は何ですか」
 - (4) 司会が、出た考えをまとめ、決まったことを確かめる。
 - 「ちがう意見のよいところを、決めた考えに生かせませんか」

4 話し合いで役割がうまく働いた所を全体で確かめる。

○「みんなで決められたのは、だれの、どんな発言があったからですか」

予想される児童の反応：・～と～は、どちらもみんなが楽しめる所が同じだ。

- ・～は準備に時間がかかる所が、ほかの意見とちがう。
- ・目的は「～」だから、～の考えが合っていると思う。
- ・～さんの意見の～という所を、決めた考えに入れたらいい。

- ・司会が目的を言い直したので、話がそれなかった。
- ・記録係がまとめて書いてくれたので、比べやすかった。

指導上の留意点：・記録係を複数にし、書く子と、似た意見を線で囲む子に分ける。

- ・参加する人は、話し合いメモの「同じところ」「ちがうところ」の欄に書いてから発言する。
- ・自分の意見をくり返すだけの子には、「黒板のどの意見と同じで、どこがちがうか」と問い返す。
- ・発言が少ない子には、隣の子と一度話してから全体で話す時間を取る。
- ・司会が困った時は、役割カードの次の言葉を先生が指さして示す。先生が話し合いを進めすぎない。
- ・多数決は、共通点と相違点を確認しても決まらない時だけにする。
- ・人数が多い学級は、学級を分けて同じ議題で並行して話し合い、最後に結果を合わせる形にしてもよい。

評価：思② 互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(観察・話し合いメモ)

【まとめ】

学習活動：5 本時の学習を振り返る。

○「自分の役割で、うまくできたことと、これから気を付けたいことは何ですか」

【まとめ】記録を見て、同じところとちがうところをたしかめ、目的に照らして考えると、クラスみんなでなっとくして決められる。

6 次時は、話し合い全体を振り返ることを知る。

予想される児童の反応：・記録を見たら、同じ意見が多いことに気付いた。

- ・司会で、まとめの言葉を言えた。
- ・これからは、ちがう意見の人の理由もよく聞きたい。

指導上の留意点：・振り返りは、役割カードの裏の「できたこと」「これから気を付けたいこと」に書かせる。

- ・黒板の記録を写真に残し、次時の振り返りで使う。

（３）板書計画（縦書き・右から左へ）

一番上に横に長く議題と目的。その下の左に日付とめあて。左端に話し合いの進め方（議題と目的の確認→提案→質問→意見を出し合う→比べてまとめる→決まったことの確認）を縦に並べ、今どこを話しているかを磁石で示す。中央の広い所を記録係が使い、出た意見を短い言葉で書き、似た意見を線で囲んで見出しを付ける。共通点は同じ色、相違点は別の色の線で示す。右に決まったことと、その理由。右下にまとめと振り返りの観点。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

